

別紙 3 3

【薬効分類】 6 1 4 主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの

【医薬品名】 クラリスロマイシン

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行	改訂案								
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>ピモジド、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、スボレキサント、ダリドレキサント塩酸塩、ボルノレキサント水和物、ロミタピドメシル酸塩、タダラフィル（アドシルカ）、チカグレロル、イブルチニブ、イバブラジン塩酸塩、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の用量漸増期）、ルラシドン塩酸塩、アナモレリン塩酸塩、フィネレノン、イサブコナゾニウム硫酸塩、ボクロスポリン、マバカムテンを投与中の患者</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>ピモジド、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、スボレキサント、ダリドレキサント塩酸塩、ボルノレキサント水和物、ロミタピドメシル酸塩、タダラフィル（アドシルカ）、チカグレロル、イブルチニブ、イバブラジン塩酸塩、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）、再発又は難治性のマントル細胞リンパ腫の用量漸増期）、ルラシドン塩酸塩、アナモレリン塩酸塩、フィネレノン、イサブコナゾニウム硫酸塩、ボクロスポリン、マバカムテン、<u>アゼルニジピン</u>、<u>オルメサルタン</u> <u>メドキシミル・アゼルニジピン</u>を投与中の患者</p>								
<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌(併用しないこと)</p> <p>(新設)</p>	<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1" data-bbox="1126 1241 2004 1332"> <thead> <tr> <th data-bbox="1126 1241 1480 1291">薬剤名等</th> <th data-bbox="1485 1241 1771 1291">臨床症状・措置方法</th> <th data-bbox="1776 1241 2004 1291">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1126 1294 1480 1332"><u>アゼルニジピン</u></td> <td data-bbox="1485 1294 1771 1332"><u>アゼルニジピンの血</u></td> <td data-bbox="1776 1294 2004 1332"><u>本剤のCYP3Aに</u></td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>アゼルニジピン</u>	<u>アゼルニジピンの血</u>	<u>本剤のCYP3Aに</u>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子							
<u>アゼルニジピン</u>	<u>アゼルニジピンの血</u>	<u>本剤のCYP3Aに</u>							

	<u>オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン</u>	<u>中濃度が上昇し作用が増強するおそれがある。</u>	<u>対する阻害作用により、左記薬剤の代謝が阻害され、それらの血中濃度が上昇する可能性がある。</u>
--	-------------------------------	------------------------------	---